



全国からこの時期オススメの美味しい国産農産物をPR 銀座で「チャリティー頒布会」が開催！

■全国の17自治体からこだわり商品をPR！

銀座の教寄屋橋公園（5丁目側）で「美味しい国産農産物 チャリティー頒布会」が10月27日（土）に開催されました。主催は銀座料理飲食業組合連合会で、農林水産省が開催している農林漁業の祭典「JAPAN HARVEST 2018」とのコラボレーションで行われました。

この頒布会は今年で18回目を迎え、会場内には銀座の飲食店とお付き合いのある長野市・和歌山県・北海道・埼玉県・岩手県・岡山県・鳥取県・福井県・福井市・山形県・広島県・新潟県・高知県・大分県・熊本県・茨城県・群馬県の計16道県（17自治体）が、各地のこだわり新鮮農産物や加工品を持ち寄りチャリティーで配布しました。オープニングセレモニーでは各自治体から持ち寄った農産物の紹介があり、「ぐんまちゃん」をはじめ、熊本県から「くまモン」・埼玉県から「コバトン」・和歌山県から「かき音ちゃん」・岩手県から「そばっち」・山形県から「ペロリン」や中央区社会福祉協議会のゆるキャラ「ニジノコ」等10体のゆるキャラも応援に駆け付け盛大に行われました。

開場2時間前からお客様が並んで長蛇の列ができ、13時の開始とともにチャリティーにご協力いただいた方から順次会場内に入場して、各自好きな自治体ブースで引き換え品を受け取るかたちで実施されました。50分程度ですべてのブースで農産物の配布が終了する盛況ぶりでした。

■群馬県のブランド米とやまといも大好評！

群馬県からはブランド米としてみなかみ町の「水月夜（みなつきよ）」と沼田市の「小松姫（こまつひめ）」、JAにっただみどりの「やまといも」の配布が行われました。「水月夜」と「小松姫」の生産者の他にぐんまちゃんもお手伝いして、お客様に群馬県産農産物の配布とPRを行いました。全国から自慢の農産物が配布される中で、群馬県は3番目にすべて配り終わるなど大変好評で頒布会は盛況のうちに終了しました。

今年の利根沼田地域のお米の生産は夏場の高温と干ばつにより大変苦労したとのこと。収量はやや少なくなりましたが、昼夜の寒暖差が大きいいため例年より食味値は高いなど大変美味しいお米が収穫されました。生産者は「今後は群馬県内はもちろん、都内でも積極的に利根沼田地域のお米の美味しさをPRして、さらなる消費拡大や認知度向上に努めていきたい」とコメントしていました。

頒布会終了後には主催者である銀座料理飲食業組合連合会との懇親会が開催されました。各参加自治体の皆さんからご当地食材についての紹介が行われ、群馬県からも利根沼田地域のブランド米「水月夜」と「小松姫」の代表者から食味の良さについてのPRやおにぎりでの試食提供が行われ、生産者にとって有意義なPR機会となりました。



オープニングセレモニーで全国からの農産物を紹介



全国からの農産物頒布品



群馬県ブース（左）と群馬県の頒布品（右）



銀座の飲食店で利根沼田ブランド米をPR